

生物学的同等性試験 [溶出試験]

カンデサルタン錠 2mg 「NIG」

カンデサルタン錠 2mg 「NIG」は、「含量が異なる経口固形製剤の生物学的同等性試験ガイドライン（平成24年2月29日 薬食審査発 0229 第10号）」に基づき、カンデサルタン錠 8mg 「NIG」を標準製剤としたとき、溶出挙動が等しく、生物学的に同等とみなされた。

製剤の処方変更水準と要求される試験

処方変更水準	B水準	要求される試験	「後発医薬品の生物学的同等性試験ガイドライン」の溶出試験
--------	-----	---------	------------------------------

溶出試験条件

装置	日本薬局方 溶出試験法 パドル法	液量	900mL	温度	37±0.5℃
----	------------------	----	-------	----	---------

溶出試験結果

回転数	試験液	判定
50rpm	pH1.2	120分における本品の平均溶出率は標準製剤の平均溶出率±6%の範囲にあった。また、最終比較時点(120分)における本品の個々の溶出率は、本品の平均溶出率±9%の範囲を超えるものはなかった。
	pH4.0	360分における本品の平均溶出率は標準製剤の平均溶出率±6%の範囲にあった。また、最終比較時点(360分)における本品の個々の溶出率は、本品の平均溶出率±9%の範囲を超えるものはなかった。
	pH6.8	360分における本品の平均溶出率は標準製剤の平均溶出率±6%の範囲にあった。また、最終比較時点(360分)における本品の個々の溶出率は、本品の平均溶出率±9%の範囲を超えるものはなかった。
	水	360分における本品の平均溶出率は標準製剤の平均溶出率±6%の範囲にあった。また、最終比較時点(360分)における本品の個々の溶出率は、本品の平均溶出率±9%の範囲を超えるものはなかった。
	pH1.2 0.1w/v% ポリソルベート 80 添加	標準製剤が120分における平均溶出率の1/2の平均溶出率を示す適当な時点及び120分において、本品の平均溶出率は標準製剤の平均溶出率±6%の範囲にあった。また、最終比較時点(120分)における本品の個々の溶出率は、本品の平均溶出率±9%の範囲を超えるものはなかった。
	pH4.0 0.1w/v% ポリソルベート 80 添加	標準製剤が360分における平均溶出率の1/2の平均溶出率を示す適当な時点及び360分において、本品の平均溶出率は標準製剤の平均溶出率±6%の範囲にあった。また、最終比較時点(360分)における本品の個々の溶出率は、本品の平均溶出率±9%の範囲を超えるものはなかった。

50rpm	pH6.8 0.1w/v% ポリソルベート 80 添加	標準製剤の平均溶出率が 40%及び 85%付近の 2 時点において、本品の平均溶出率は標準製剤の平均溶出率±10%の範囲にあった。また、最終比較時点(30 分)における本品の個々の溶出率は、本品の平均溶出率±15%の範囲を超えるものはなかった。
100rpm	pH6.8 0.1w/v% ポリソルベート 80 添加	f2 関数の値は 50 以上であった。また、最終比較時点(45 分)における本品の個々の溶出率は、本品の平均溶出率±15%の範囲を超えるものはなかった。

カンデサルタン錠 2mg 「NIG」の溶出挙動を標準製剤（カンデサルタン錠 8mg 「NIG」）と比較した結果、上記全ての条件において「含量が異なる経口固形製剤の生物学的同等性試験ガイドライン」の判定基準に適合した。

